

地域の皆様と共に永く住み続けられる街づくりを進める
「ちどり福祉会」の最新情報



社会福祉法人
ちどり福祉会広報部

福岡市東区八田 1-4-15
TEL: 092-691-5089
<http://www.chidorifukushi.jp>

いきいき

新年号

2020年1月発行

題字 いきいき八田特養利用者様



新年明けまして
おめでとうございます



施設長 渡部美紀

令和二年がスタートしました。皆様、どんな年をお迎えでしょうか。

昨年は新しい元号の発表、台風被害など国全体で注目するニュースがいくつもありました。

その中でもラグビーワールドカップでの選手の活躍は、ルールを知らない人たちをも引き付ける魅力がありました。並大抵でない練習を共にした仲間との絆は、若い時を思い出した人、憧れのような想いを抱いた人、そして一つの目標に向かうチーム力に感動しました。色んなタイプの選手が持ち味を出す、出せる場をチームで作る：私たちの職場にも「ある、ある」と思いながら、勝手に親近感も覚えていました。

ちどり福祉会は今年も、全職員がスクラムを組む気持ちで頑張つて行きます。今年もよろしくお願い致します。

家族・利用者のひろば

いつまでも2人でのどかへ

小規模多機能ホームのどか

吉岡美代子
吉岡博

子供のころは長崎の佐世保に家族で暮らしていました。戦時中、近所に疎開してきた主人の家族を、母が面倒をみて親戚付き合いのようにしてきました。私は義理の父とも仲良く、そのまま主人と二十一歳ぐらいで結婚し、福岡に来て夫婦で大工として自営業を営んできました。

仕事は忙しく、旅行に行った想い出はありませんが、出張であちこち飛び回っていました。

子宝にも恵まれ、現在は息子と三人で暮らしています。息子も仕事が忙しく、病気になる前までは私が全ての家事をこなしていました。平成三〇年に夫婦ともに病気になるって入院しました。夫婦ともに介護が必要な生活となり、退院が近づくとつれ、仕事のストレスや介護の不安もあり、息子と喧嘩が絶えなくなり、私の生活を安定させるため、昨年四月よ



り私だけが通いを利用するようになりました。のどかにも在宅生活にも慣れてきた昨年八月、退院した主人と夫婦でのどかを利用するようになりました。現在は、のどかで主人はリハビリを行い足腰もしっかりしてきて、介護も楽になってきました。私も亀のお世話や洗い物を手伝ったり、夫婦でのどかに来ることが楽しみになっています。夫婦ともに今の生活に満足していますので、これからもいつまでも二人でのどかに来たいと思っています。

箱崎秋祭り



毎年8月に開かれるいきいき箱崎のお祭り行事ですが、近年の猛暑を考慮して今年は10月へと時期をずらし、夏祭りならぬ秋祭りの開催となりました。当日は心地よい秋晴れに恵まれ、中庭には職員たちが皆さんに楽しんでもらおうと、この日の為に準備した様々な出店が並びます。ご利用者様たちはご家族様や職員と一緒に買いものや遊びを思い思いに楽しまれていて、中庭に素敵な笑顔が満ち溢れていました。

地域交流スペースでは、サ高住のご利用者様たちで結成されたコーラスサークルによる合唱が披

露され、綺麗な歌声に聞き入っていた皆さんも大満足。最後は職員とご利用者様も一緒になって炭坑節を踊り、大盛り上がりで今年の秋祭りは幕を閉じました。

今年は10月の時期の開催ということもあって初めての試みが多く、色々と手探りで準備を進めてきた部分もありましたが、ご利用者様やご家族様の力強いご協力を頂いて素晴らしい行事にすることが出来ました。来年もより良いものになるように職員一同尽力し、沢山の笑顔が見られることを楽しみにしています。[箱崎秋祭り実行委員 安部]

八田秋祭り



今年は初めての試みで秋祭りを行いました。天候に恵まれ、昼間の開催でデイサービスのご利用者様も参加され、多くの方に来店や演芸を楽しんでいただきました。ステージでは職員による日本舞踊とパブリカの踊りを披露し、「カルマ・クインテット」さんがバンド演奏で盛り上げて下さり、一緒に口ずさみながら楽しまれていました。ボランティアの方やご家族様に多数ご協力いただき楽しく有意義な時間を過ごしました。[八田秋祭り実行委員長 西村]

事業所・職場紹介

特別養護老人ホーム
いきいき八田

特別養護老人ホームいきいき八田は、一階がユニット型、二階・三階が従来型の施設となっております。ご利用者様の生活が、自分らしく笑顔あふれるように、毎日お手伝いをさせていただいています。また日々の暮らしの中で、ご利用者様との信頼関係を大切にし、安心した生活環境の提供に努めています。職員間の仲も良く、とても働きやすい施設です。

2丁目東



1丁目



3丁目



2丁目西南



「はこうまネット」に参加しています。

「はこうまネット」とは？

馬出・箱崎・東箱崎校区の介護事業所や医療機関のメンバーを中心に作られた、「事業所ネットワーク」です。箱崎の「はこ」、馬出の「うま」とって「はこうまネット」と名付けました。

「はこうまネット」は何のために活動している？

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」、例えば「認知症であってもなくても暮らしやすいまちづくり」を目指して活動しています。

◇例えばこんな時にご相談ください◇

- 介護保険について知りたい
- 介護の相談がしたい
- 高齢者施設の事を聞いてみたい
- デイサービス利用の相談がしたい
- 福祉用具を実際に見てみたい
- 認知症について知りたい
- 病気や薬について気軽に相談したい
- ロコモ予防、脳活性化、あしゆびなどの健康体操をしてみたい
- 地域の集まりなどで医療や介護の講座をしてほしい

平成30年6月19日に立ち上げて、これまで地域の皆様に知ってもらうため様々な周知活動をして参りました。その成果もあり、地域からの依頼に応じていっています。「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域住民と事業所がお互いに協力しあう形が出来てきています。今後も「はこうまネット」の活動を通して、地域づくりに貢献していきたいと思っております。

ご寄附のお礼



この度、

秋武和子様

大崎一生様 より、

ご寄附をいただきました。頂いた寄附金で、離床センサーとリクライニング車イスを購入することといたしました。これからも利用者の皆様に喜んでいただけるサービス提供に努力して参ります。ありがとうございました。

八田小学校との交流



いきいき八田で、八田小学校の4年生に対して①認知症学習②施設見学③利用者交流を9月～11月にかけて行いました。開設当初から続いている交流です。4年生は好奇心旺盛で、質問や感想が毎回飛び交う活気ある総合学習になっています。最後の交流では4～5人のグループに分かれて、グループ毎で考えてきたスゴロク、折り紙、手品や名探偵コナンの寸劇などなどを楽しみました。1時間の交流では短かったと言ってももらえるほど盛り上がりました。ご利用者様にとって楽しい1日となりました。子どもたちにとって大切な学びと交流の機会になるように、今後も交流を続けていきたいと思っています。